

ハイライト

「ブラザーグループ中期環境行動計画2018」(2016～2018)

環境配慮製品を創出します

環境配慮製品の開発に一層注力するため、各国環境ラベルの積極的な取得と新基準への対応など、各製品分野でのトップレベルの環境配慮設計を推進しています。トップレベルの環境配慮設計を基盤に、製品のライフサイクル全体の負荷低減を目指し、製品のカーボンフットプリントの削減を進めます。

2020年度中期目標を見据えた3か年目標として、グループから排出されるCO₂を削減します

2013年度からは、CO₂排出量削減活動の対象範囲をグループ全体に拡大し、さらには、自社からのCO₂排出量だけでなく製品のサプライチェーン全体でのCO₂排出量の算定と削減にもチャレンジしています。算定結果の信頼性を検証するため、第三者機関による国際基準(ISO14064-1の要求事項)への適合性について検証を受け、データの認証取得にも努めています。

世界中で広がる環境法規制に迅速に対応します

「REACH規則」、「RoHS指令」など、各国・地域の法規制を順守するのはもちろん、調達した部品に含まれる特定の化学物質を調査・管理するためのITシステム「環境情報システム」の運用や、部品・材料を調達するお取引先各社への監査を実施することで、グループ全体での化学物質保証体制を確立しています。

環境スローガン「Brother Earth」のもと、環境ブランドイメージを高める活動に取り組みます

地球環境への配慮を「Brother Earth」というスローガンを掲げて普及啓発するとともに、環境スペシャルサイト「brotherearth.com」を通じ、従業員の環境に配慮した製品開発への思いを込めた「スペシャルストーリー」「製品への配慮」のほか、グループ全体の環境保全活動なども紹介しています。同サイト内の「クリック募金」や、環境をテーマとしたイベントの開催など、双方向のコミュニケーションを通じて、多くのステークホルダーと連携・共同し、環境保全や地域社会への貢献活動に積極的に取り組んでいます。

COP10で採択された愛知ターゲットに基づき、グループを挙げて生物多様性保全に取り組みます

ブラザーグループは、COP10開催地のグローバル企業として、生物多様性に関する2020年目標「愛知ターゲット」を上位目標と位置づけ、拠点ごとに地域特性を考慮した生物多様性の保全活動に取り組んでいます。従業員への生物多様性保全の教育普及に努め、生息地破壊を抑制するとともに、生きていくのに不可欠な生態系サービスの回復に貢献し、外来種の駆除・侵入防止活動や希少種の生息地保全の活動などを一層促進していきます。